

社会貢献活動（地域ボランティア活動）の実施報告

（一社）長野林業土木協会

活動内容	大阿原湿原遊歩道整備ボランティア活動
1 実施年月日 : 平成30年8月1日 2 実施場所 : 長野県伊那市 黒河内国有林 220 イ林小班 3 参加会員数 : 天竜支部伊那・諏訪地区協議会 8企業 13人 南信森林管理署職員 5人 上伊那農業高校生徒 37人 計 約55人 4 活動内容 :	入笠山大阿原湿原（標高約1,810m）は、高層湿原としては国内最南端にあり、面積は約12ha、外周に1.7kmの散策道があり、南アルプス（中央構造線エリア）ジオパーク、南アルプスユネスコエコパーク内に位置している。 今年はこの散策道で壊れた木道の修繕や老朽化した杭の交換、木質チップの敷き均し、グリーンロープの締め直し、散策路を覆う笹の刈り払いなどを、上伊那農業高等学校の生徒に実技指導を行いながら実施した。 当日は会員と中部森林管理局南信森林管理署の職員、上伊那農業高校緑地創造科2年生の合わせて55人が参加した。 このボランティア活動は、林業土木の専門的な知識と技術を伝えるとともに環境保全への理解を深める体験実習と社会貢献活動を兼ねて行っているものであり今年で14回目となる。 当協会では、平成24年から林業土木のプロとして生徒の技術指導に当り、今年も、6月から関係者と打合せ等を行い、8月1日には高校生37人が参加して、南信森林管理署職員、地区協会員の技術指導のもと、手際よく作業を行っていた。
活動写真・報道	南信森林管理署職員と集合写真 始めの会（南信森林管理署長挨拶）



丸太杭の交換



遊歩道（木道）の修繕



遊歩道（木道）の整備



木質チップの敷き均し



遊歩道の整備(笹の刈り払い)



終わりの会（生徒代表挨拶）



終わりの会（天竜支部長挨拶）